

いちいの保育施設完成

福島で創設記念式典



いちい（福島市）が同市内に設置した企業主導型保育施設「いちいキッズガーデン」の創設記念式典は23日、同施設で開かれ、関係者が施設の完成を祝った。同社の保育施設開設は初めて。

従業員の保育や子育てを支援しようと昨年10月に開設し、運営は社会福祉法人桜桃会も協力。いちいが農家から仕入れた新鮮な食材を取り入れた給食を提供する。

定員は32人で生後3カ月半～5歳児が対象。地域枠として、従業員以外の子どもも受け入れる。式には社員のほか、10人の園児と保護者らが出席。

同社の伊藤信弘社長が「安心して生活できるために、施設を役立ててほしい」と話し、安斉光子園長が「心豊かに育つ子どもたちの支えになるように職員一同ま

い進していく」とあいさつした。木幡浩市長が来賓代表であいさつした。式典後には入園式も行われ、園児らが新生活に向けて気持ちを新たにされた。

▲くす玉を割り、創設を祝う

園児と保護者